



# 議会だより



新生三種町議会スタート乙

## 第2号

### もくじ

- ・議長あいさつ ..... 2
- ・議員の紹介 ..... 3
- ・各種委員会等構成 ..... 4
- ・臨時会 ..... 5
- ・6月定例会議案審議・予算 ..... 6
- ・6月定例会各委員会報告 ..... 7
- ・一般質問 ..... 8 ~ 10
- ・議員研修・請願・陳情 ..... 11
- ・広報委員会構成・編集後記 ..... 12

発行:三種町議会  
 編集:議会広報編集特別委員会  
 〒018 2401  
 秋田県山本郡三種町鶴川字岩谷子8番地  
 TEL(0185)85-4831 FAX(0185)85-2178  
 URL <http://www.townmitane.akita.jp/>



## 議長就任にあたって

三種町議会議長 児玉信長

去る6月25日執行されました町議選挙後、初の三種町議会臨時会におきまして、議員の皆さんから選出され議長の要職に就くことになりましたことは、誠に身に余る光栄でありまして衷心より感謝申し上げますとともに、この重責を痛感いたしている次第であります。

私は一身を挺して、その御厚志に報いる覚悟であります。なお、議会の運営につきましては、旧琴丘町議員として八期務めてきた経験から、公平無私の態度を堅持いたしますことをお誓い申し上げます。

これからは人口2万余人の新生三種町発展のうえに立つて、正しく相携えて町民の信託にこたえていかなければなりませんので、ご理解とご協力を賜りますことを心からお願い申し上げます、就任のご挨拶と致します。

# 三種町議会議員

(数字は議席番号)



斎藤 清作  
1番(鵜川)



工藤 秀明  
2番(鹿中)



金子 芳継  
3番(大口)



三浦 弘美  
4番(泉八日)



板倉 浩  
5番(長面)



児玉 重吉  
6番(川尻)



後藤 栄美子  
7番(鵜川)



田中 壽男  
8番(鹿北)



伊藤 広子  
9番(木戸沢)



大澤 和雄  
10番(割道)



安藤 賢藏  
11番(泉八日)



清水 欣也  
12番(浜田)



近藤 一彦  
13番(鹿南)



堺谷 房子  
14番(飛塚)



三浦 敦  
15番(浜田)



平賀 真  
16番(大町)  
【副議長】



高橋 金正  
17番(逆川)



袴田 隆  
18番(藤木台)



宮田 幹保  
19番(浜鯉川)



加藤彦次郎  
20番(鹹淵)



伊藤 千作  
21番(新屋敷)



児玉 信長  
22番(鹿北)  
【議長】

## 三種町議会常任委員会委員

総務常任委員会（7人） 任期 自 平成18年7月11日 至 平成20年7月10日

委員長	副委員長	委員	
金子 芳 継	清 水 欣 也	三 浦 弘 美 児 玉 重 吉 堺 谷 房 子	高 橋 金 正 加 藤 彦 次郎

教育民生常任委員会（7人）

委員長	副委員長	委員	
宮 田 幹 保	大 澤 和 雄	斎 藤 清 作 工 藤 秀 明 後 藤 栄 美子	伊 藤 広 子 平 賀 真

産業建設常任委員会（8人）

委員長	副委員長	委員	
板 倉 浩	安 藤 賢 藏	近 藤 一 彦 田 中 壽 男 三 浦 敦	袴 田 隆 伊 藤 千 作 児 玉 信 長

## 三種町議会運営委員会委員（6人）

任期 自 平成18年7月11日 至 平成20年7月10日

委員長	副委員長	委員	
斎 藤 清 作	三 浦 敦	児 玉 重 吉 近 藤 一 彦	三 浦 弘 美 平 賀 真

## 各組合議会議員等

能代山本広域市町村圏組合議会議員（任期 平成20年7月10日）

児 玉 信 長	平 賀 真	金 子 芳 継	宮 田 幹 保
---------	-------	---------	---------

能代市山本郡養護老人ホーム 三種町監査委員（任期 平成22年6月30日）  
組合議会議員（任期 平成20年7月10日）

伊 藤 広 子	議 会 選 出 監 査 委 員 三 浦 弘 美
---------	----------------------------

農業委員議会推薦（任期 平成21年7月19日）

安 藤 賢 藏	近 藤 一 彦	後 藤 栄 美子
---------	---------	----------

財団法人三種町山本開発公社役員推薦（任期 平成20年7月10日）

袴 田 隆 工 藤 秀 明	高 橋 金 正 児 玉 重 吉	大 澤 和 雄	三 浦 弘 美
------------------	--------------------	---------	---------

# 第2回臨時会議案

## 可決

### 7月11日

- 三種町議会議長選挙
- ・ 児玉 信長

- 三種町議会副議長選挙
- ・ 平賀 真

議会常任委員会委員の選任  
議会運営委員会委員の選任

議会広報編集特別委員会委員の選任

能代山本広域市町村圏組合議会の議員の選挙

能代市山本郡養護老人ホーム組合議会の議員の選挙

農業委員の選任につき議会が推薦する者

財団法人三種町山本開発公社役員推薦

政治倫理の確立のための三種町議会の議員の兼業に関する条例

政治倫理の確立のための三種町議会の議員の兼業に関する規則

政治倫理の確立のための一部事務組合議会の議員の兼業に関する決議

三種町議会の所管に係る個人情報保護条例施行規則

三種町議会の所管に係る情報公開条例施行規則

議員派遣の件

(秋田県町村議会議長会主催の議員研修会)

字の区域の変更

三種町監査委員の選任(議会選出)

# 第3回臨時会議案

## 可決

### 7月24日

- 三種町琴丘地区集会所設置条例の制定
- 三種町琴丘コミュニティセンター設置条例の制定
- ・ 2案とも指定管理者制度の導入に伴う条例の制定

平成18年度農村総合整備事業種沢線第01601号工事請負契約の締結

・ 契約の方法 指名競争入札

契約金額 6,195万円

契約の相手方 小玉建設株式会社

平成18年度三種町一般会計予算の補正

・ 補正額 2億円(ふるさと融資貸付金)

補正後の額 93億5,400万円

三種町助役の選任

・ 北林敏明氏

住所 三種町下岩川字増沢10番地2

生年月日 昭和18年3月1日

人権擁護委員候補者の推薦

・ 板倉孝子氏

住所 三種町下岩川字宮ノ目44番地

生年月日 昭和22年2月7日

## 政治倫理確立のための三種町議会の議員の兼業に関する条例等の概要

三種町議会として、政治倫理の確立のため、議員の兼業に関し一定の行動規範を設けることよって、議員が自己の地位と権限による影響力を不正に行使することを未然に防止するとともに、その職責に付随した疑惑が生じないよう努めることを目的として制定しました。その主な概要は、次のとおりです。

○議員又は議員の配偶者若しくは二親等以内の親族が実質的に経営に携わっている企業(以下「関係私企業」という。)は、

○議長及び町が出資する公社等との工事請負契約(実質的に元

請負と異ならない下、請負を含む。)、業務委託契約及び物品購入契約(以下「請負契約等」という。)の締結を辞退するよう努めなければならない。

○議員は、関係私企業に関する届出書を町長に届出する。

○町長は、届出があった関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長から報告を受けた議長は、議会だより等で町民に公表する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

○町長は、報告を受けた関係私企業と百万円を超える請負契約等(単価契約の場合は支払総額)をした場合は、議長に報告する。

6月定例会 6月6日～14日

# 平成18年度三種町の一般会計の予算は 歳入歳出予算の総額

# 91億5400万円

とする。

## 特別会計

■国保会計	22億3,968万1千円
■老人保健会計	27億5,227万7千円
■簡易水道事業会計	2億3,363万5千円
■公共下水道事業会計	11億5,909万3千円
■農業集落排水事業会計	1億2,532万3千円
■土地取得会計	928万0千円

■介護保険事業勘定会計	15億4,012万8千円
■介護サービス事業勘定会計	3,305万8千円
■衛生処理事業会計	1,928万9千円
■温泉事業会計	2,363万9千円
■国民健康保険診療施設勘定会計	3,166万5千円
■水道事業会計	
収益的収入	1億8,331万7千円
収益的支出	1億7,912万3千円
資本的収入	806万9千円
資本的支出	4,327万2千円

## 議定例会 案会

平成17年度三種町一般会計・下水道会計繰越明許費の報告  
専決処分承認を求めるところ  
三種町町税条例の一部を改正する条例  
三種町国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
平成17年度三種町一般会計暫定補正予算  
秋田県漁業信用基金協会の会員となること  
平成18年度三種町公共下水道事業特別会計暫定補正予算  
平成18年度三種町国民健康保険診療施設勘定特別会計暫定予算  
三種町国民保護協議会条例の制定等2件  
三種町犯罪被害者等基金条例の制定  
三種町障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の制定

三種町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例  
三種町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例  
三種町国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
三種町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例  
三種町ことおか中央公園の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例等34件  
指定管理者制度の導入に伴う条例の改正  
三種町過疎地域自立促進計画  
町道路線の認定  
損害賠償の額の決定  
秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更  
秋田県市町村会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少  
平成18年度三種町簡易水道事業特別会計への繰り入れ等4件  
平成18年度三種町一般会計予算等13件  
三種町監査委員の選任  
代表監査委員  
田中金光氏  
議会選出 田村圭三氏  
三種町教育委員の選任  
宮田和子氏・藤原長五郎氏・嶋田博光氏・大塚強氏・岩谷朝子氏  
三種町固定資産評価審査委員会委員の選任  
加藤長孝氏・近藤久信氏・関充夫氏  
三種町議会委員会条例の一部を改正する条例  
議員在任特例の終了に伴う委員構成員数の変更  
三種町長の専決事項の指定  
三種町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙委員 近藤一勇氏・近藤良正氏・田村一夫氏・泉一郎氏  
補充員 岩谷朝子氏・佐藤好孝氏・川田耕司氏・袴田昭夫氏

# 総務常任委員会

## 報告書

議案第59号から議案第71号までの平成18年度予算関係議案において、

を慎重審査した結果、次のとおり意見を付して原案承認すべきものと致しました。

### 意見書

町税（国保税含む）

一般会計歳入歳出中  
総務課、議会事務局、まちづくり課、税務課、会計課、選挙管理委員会、地域づくり課及び監査委員の所管に関する事務並びに他の常任委員会の所管に属さない事務（国体推進室等）  
・土地取得特別会計



# 教育民生常任委員会

## 報告書

議案第59号から議案第71号までの平成18年度予算関係議案において、

を慎重審査した結果、次のとおり意見を付して原案承認すべきものと致しました。

### 意見書

国民健康保険事業助定特別会計

一般会計歳入歳出中  
町民生活課、いきいき健康課、教育委員会、地域生活課、教育振興室及び診療所の所管に関する事務  
・国民健康保険事業助定特別会計  
・老人保健特別会計  
・介護保険事業助定特別会計  
・介護サービス事業助



# 産業建設常任委員会

## 報告書

議案第72号から議案第75号までの繰り入れ関係議案を慎重審査した結果、承認すべきものと致しました。

課及び農業委員会の所管に関する事務  
・簡易水道事業特別会計  
・公共下水道事業特別会計

### 意見書

農業集落排水事業特別会計

議案第59号から議案第71号までの平成18年度予算関係議案において、  
一般会計歳入歳出中  
農林課、商工観光課、建設課、上下水道課、地域産業課、地域整備



国民健康保険事業助定特別会計の、「国保税の引き上げは、住民負担増となり、町民から理解を得られない」との意見もあつたので、今後引き上げは慎重に検討すべきである。  
教育関係施設の燃料費について、随意契約で購入しているが、高値である。公平さをはかるためにも今後、入札等による適正な価格での購入を求める。



議員 秀忠 森 松

臨時議会の招集

Q 合併後全体計画、行政サービス等の遅れがあつてはならない。町長選挙後速やかに臨時議会を招集すべきであつたと思うが

A 行政サービス等の遅れについては影響がなかった。臨時議会をやめて6月議会定例会を早めにし、人事・予算等、慎重に決めていただく意味からも、会期を長く取り開催した方が良く判断をした。

新町における施設、設備

Q 三種川と国道が交わる周辺(川尻地区)の両岸に桜の木を植え、螢が飛びかう様な心をいやす憩いの場所を作つたらどうか。

A 現在地元や土地改良区の方からもその様な提案はない。今後要望があつても三種川は県管理でありクリアしなければならぬハードルが色々ある。

福祉政策



議員 真 賀 平

Q 少子高齢化が進み、厳しい予算状況の中、町民福祉は、どのように進めていくのか。

A バランスが崩れた人口構成のなか、効率の良い福祉政策をやつていきたい。福祉の助けを必要とする人達に、きちんと答えていかなければならない。地域の人々が共に支えあえるボランティア育成も促しながら今後の福祉に向かつていく。



三種川(川尻周辺)

Q 特別養護老人ホームの入所者及び、入所希望者で三種町民は何人いるのか。

A 6月のはじめで町内の入居者は93名(2施設)、町外8施設31名。入所希望者は各施設への問い合わせで、町内施設199名、町外施設78名、合計277名位。人数は重複しているので正確ではありません。

Q 社会福祉協議会の運営に町はどのように関わっているのか。

A 町と社協はそれぞれ連携し、地域福祉の推進に努めている。旧三町の社協も三種町社会福祉協議会として再編され、基本目標を掲げながら各地域にケアセンターを設置、自立生活支援を重点目標としている。財源不足についても極力社協に過大な負担をかけるよう努力していく。

Q 本所・総合支所の実態と職員の意欲

A 三種町役場の機構は順調に動いているのか。

A 本所・総合支所は、今のところ大きなトラブル等は発生していない。職員に関しては町のために頑張ってもらおう。



特別養護老人ホーム「美幸苑」





堀谷 房子 議員

飲料水と下水処理の改善

Q 旧山本地区では上水道の品質が殊のほか悪く、これまでなんらの改善もないうまま現在に至っている。また、金岡地区では、水道組合による供給水不足により、下水道が使用できない箇所がある。早急に調査し改善すべきだ。

A 3年以内に水量の確保と水質の良い水の確保をしたい。他に優先して進めていく。

街灯が必要

Q 道路整備や新設により分断された地区がある。地元では忘れられた町と言う地名が付くほどであるが、この地区では街灯不足から大変な不安をかかえている。死角を総点検し不足な箇所に新設をしてもらいたい。

A 犯罪防止上、あるいは交通事故等、社会基本整備として必要と考えている。

子育て支援

Q 小学校入学時旧山本地区にも八竜、琴丘地区同様ランドセルの配布をお願いしたい。

A 19年度から全町内に無料配布をする。

生徒を取り巻く事件・事故

Q が多発する中、登下校時を見守るボランティアを募集するとの行政報告だが、今すぐ行動を起こせることは何かを考え早急に対応すべきだ。

A 5月19日から各教育委員会が公用車でのパトロールを。また駐在所5カ所へ文書でお願いしている。三種町から絶対に犠牲者をださないよう取り組む。



学校安全パトロール車

国保税の引き下げ

Q 国保税加入者の平均所得は200万弱にすぎない。国保税を引き下げ、誰もが払える税にすることこそ住民の切実な願いであり、自治体としても最大限の努力が求められる。

A 基金の取り崩しや一般会計から繰り入れるなどして引き下げに対応すべきだ。

A 農業所得が伸びないなど地方経済が低迷している中で、税の負担については、忍びないが負担能力に応じて課税額が決められている。



伊藤 千作 議員

防災計画

Q 県内合併町村で防災計画の作成が進んでいない。地域に応じた防災計画を早急に作成すべきである。

A 年度内にしっかりとした防災計画を作成する。

住宅リフォーム制度

Q 町内の施業者で、自宅の修繕、補修工事を行う場合、町で住宅リフォーム助

A 次の議会定例会に提案したい。

非核平和宣言

Q 非核平和宣言は旧三町でも宣言を行っており、早急に宣言すべきだ。

成制度を行うべきである。

A 来年度あたりから積極的に検討していく。



住宅の修繕・補修工事



大澤 和雄 議員

乳幼児医療費  
無料化

**Q** 乳幼児医療費は一部自己負担することになっているが、町でその分を負擔し、全額無料でできないか。

**A** 県の受給者負担の内容は、医療費に係る自己負担の上限を一医療機関につき一ヶ月千円とし、所得制限枠は従来通りである。基本的に県の方針に従って円滑な事業の運用を図っていく。町独自の負担は現段階では考えていない。

放課後児童クラブ  
登録料

**Q** 新町では二千元となったが、無料にすべきだ。

**A** 七月一日から五百円にしたい。

防災行政無線

**Q** 旧山本町では午前10時に「らく

らく健康体操」を放送していたのを新町で中止したが、復活できないか。

**A** 地元の要望が大きければ、決めた時間以外でも支所単位でいろいろ検討し、柔軟に対応していく。



放課後児童クラブ「鶴川児童館」



佐々木兵嗣 議員

「新地方行革指針」  
に対する評価と  
対応

**Q** 昨年総務省が発したこの指針は、公務員の定数減と給与減を求めている。これを受け入れれば職員減による町民サービスの低下を招き、地域経済に悪影響を及ぼす。どう対応するのか。

**A** 少ない人と少ないお金で効率的な行政をしていくという合併の理念と合致している。  
現在270人ほどを10年間で200人程度に縮減するが、退職者の1/5を目途に補充していく。給与適正化の指導に関

しても、退職間際の特別昇給など町民には理解しがたい部分もあつたので、この指針に従っていく。

南部三町合併の  
評価と今後の  
方針

**Q** 合併のメリットと言われた「町民負担は低い方に、サービスは高い方に」というキャッチフレーズが逆転していて、単独立町の方がまじだった

という町民の声が各所から聞こえる。今後は町民本位の町政に大転換すべきだ。

**A** わずか2ヶ月半で合併の評価を問われても早すぎる。国保は医療費の見直しから上げざるを得なかったが、福祉を軽視する意図はない。産業・教育・環境衛生など総合的に考え、町民の声に耳を傾けながら、町政に取り組んでいく。



役場庁舎内



# 秋田県 町村議会議員 研修会

七月十四日(金) 秋田市 秋田県市町村会館

演題 「政局展望」  
講師 政治ジャーナリスト 高橋 誠氏  
演題 「町村議会の課題と今後の地方自治」  
講師 中央大学教授 今村都南雄氏

## 請 願

件 名	請 願 者 氏 名	審査委員会	結 果
集落排水路掘削に関する 請願書(大口地区)	金子 廣悦 他 14人	産 業 建 設 常 任 委 員 会	採 択

## 陳 情

件 名	陳 情 者 氏 名	審査委員会	結 果
出資法の上限金利の引き下げ等、 「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める陳情書	秋田県司法書士会 会長 児玉傳一郎 外 2 名	総 務 常 任 委 員 会	採 択
違法伐採問題への対応強化を求める陳情書	秋田県「森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡協議会」 会長 津谷 永光	産 業 建 設 常 任 委 員 会	採 択
「ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める」陳情書	秋田県労農市民会議 議長 石田 寛	産 業 建 設 常 任 委 員 会	採 択
最低保障年金制度の創設を求める陳情	全日本年金者組合 秋田県本部 執行委員長 藤田 實 能代山本支部 執行委員長 関 隆二	教 育 民 生 常 任 委 員 会	継 続 審 査
住民の暮らしを守り、公共サービス拡充を求める陳情	秋田県労働組合総連合 議長 日野 充	総 務 常 任 委 員 会	不 採 択

# 議会広報編集特別委員会

任期 自 平成18年7月11日  
至 平成20年7月10日

委員長 堺谷 房子 副委員長 加藤彦次郎

委 員	
伊 藤 千 作	伊 藤 広 子
後 藤 栄美子	田 中 壽 男



議会を傍聴してみませんか  
次の定例会は9月です

## 議会事務局

局 長 伊藤 邦雄

櫻庭真弓 児玉知済

### 編集後記

虫に興味を持ちはじめた孫に「おばあちゃん茶碗蒸しってどんな虫？」突然聞かれて答えに困った。子供にとつて大人は何でも知っている人であり頼れる存在であると信じ切っているのがある。最近自分を守れない子供の痛ましい事件があり過ぎるが、自分より弱い者をあやめるなど言語道断である。自分を優先させるが為の最もいやしい考えであるが、我々も大なり小なり持ち合わせているのではないのか、と今一度立ち止まり、まずは自分を見つめ直すことこそ肝要と思われるが、三種町のこれからは守りではなく攻めの行政であらねば効率化は図れないと強く感じております。

合併による議員改選があり、議会だよりも大幅に遅れてしまいましたが、今後委員一同でがんばるつもりですので、温かい応援をお願い致します。

堺谷房子 記